

兒童・青年期精神疾患

予想試験問題（全10問）

【第1問】自閉スペクトラム症（ASD）の特徴

自閉スペクトラム症（ASD）について正しいのはどれか。

1. 知的障害を必ず伴う
2. 対人関係は年齢とともに自然に改善する
3. 社会的相互関係の障害がみられる
4. 幻覚・妄想が主症状である

正解：3

解説：

ASDの中核症状は

- ①社会的相互関係の障害
- ②コミュニケーションの障害
- ③限定的・反復的行動

である。知的障害を伴わない例も多く、幻覚・妄想は統合失調症の症状。

【第2問】 ASD児への看護

ASDのある児への看護で**最も適切**なのはどれか。

1. 臨機応変な対応を重視する
2. 曖昧な指示を与える
3. 環境や生活リズムを一定に保つ
4. 集団行動に早期から慣れさせる

正解：3

解説：

ASDでは「同一性の保持」が重要。

予測可能で一貫した環境が安心につながる。

急な変更や曖昧な指示は不安を強める。

【第3問】 注意欠如・多動症（ADHD）

ADHDの三主徴として**正しい組み合わせ**はどれか。

1. 不安・抑うつ・幻覚
2. 不注意・多動性・衝動性
3. 強迫・回避・依存
4. 妄想・感情鈍麻・自閉

正解：2

解説：

ADHDの三主徴は

- ✓ 不注意
- ✓ 多動性
- ✓ 衝動性

国家試験で頻出の暗記事項。

【第4問】学習障害（LD）

学習障害（LD）について**正しい**のはどれか。

1. 全般的な知的発達の遅れがある
2. 環境要因が主な原因である
3. 特定の学習能力に著しい困難を示す
4. 思春期以降は自然に消失する

正解：3

解説：

LDは知的発達は正常であり、「読む・書く・計算する」など**特定の学習能力**に困難を示す。

【第5問】限局性学習障害

読字障害にみられやすい困難はどれか。

1. 数の概念理解
2. 視空間認知
3. 感情調整
4. 衝動制御

正解：2

解説：

読字障害では視空間認知や同時処理の障害が関係する。
算数障害は数概念や暗算を中心。

【第6問】 摂食障害（神経性無食欲症）

神経性無食欲症に特徴的なのはどれか。

1. BMIの上昇
2. 自己身体像の歪み
3. 幻覚・妄想
4. 過食と排出行動

正解：2

解説：

神経性無食欲症では

- ✓ 極端な体重減少
- ✓ BMI低下
- ✓ ボディイメージの歪み
が特徴。

【第7問】神経性過食症

神経性過食症（排出型）で起こりやすい合併症はどれか。

1. 高カリウム血症
2. 低カリウム血症
3. 低血糖
4. 脱水のみ

正解：2

解説：

嘔吐や下剤乱用により**低カリウム血症**が起こりやすい。
国家試験の数値問題で要注意。

【第8問】 境界性パーソナリティ障害 (BPD)

境界性パーソナリティ障害の特徴として**正しい**のはどれか。

1. 感情は安定している
2. 見捨てられ不安が強い
3. 現実検討能力の低下が主症状
4. 加齢とともに悪化する

正解：2

解説：

BPDでは

- ✓ 見捨てられ不安
- ✓ 感情不安定
- ✓ 自傷・自殺企図
が特徴。

【第9問】自傷行為への対応

自傷行為を繰り返す思春期患者への看護で**適切**なのはど
れか。

1. 行為を厳しく叱責する
2. 感情表出を受け止める
3. 自傷の理由を追及する
4. 家族との関わりを制限する

正解：2

解説：

自傷は感情調整の手段であることが多い。
否定せず、気持ちを受け止める姿勢が重要。

【第10問】児童・青年期精神疾患の看護

国家試験で問われやすい看護の視点として**最も重要**なのはどれか。

1. 疾患名を正確に告知する
2. 問題行動を矯正する
3. 環境調整と家族支援
4. 本人の自立のみを重視する

- 正解：3

- 解説：

児童・青年期では

✓ 環境調整

✓ 家族支援

✓ 多職種連携

が国家試験で最重要ポイント。

ワンポイント

- **ASD・ADHD・摂食障害・BPD**は毎年のように出題
- 「疾患名 + 看護の関わり」をセットで問われる
- 数値（BMI・低K血症）は要暗記

